

## オンライン報告会

### 国連責任あるビジネスと人権フォーラム 2024：アジア太平洋地域

2011年に国連人権理事会で「ビジネスと人権に関する国連指導原則 (UNGPs)」が承認されてから13年が経過し、世界各国で人権デュー・デリジェンスに関する法制化が進む中、企業に対する人権を尊重するという責任と期待は一層高まっています。日本政府も、近年「ビジネスと人権に関する行動計画 (2020-2025)」や「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」を策定するなど、日系企業が国内外のサプライチェーン全体で人権を尊重することを求めています。

企業に期待される具体的な取り組みの一つとして、人権に対する負の影響を特定し、予防、軽減、是正するための人権デュー・デリジェンスの実践があり、欧州では既に法制化され始め、アジアやその他の地域でも複数の国が法制化を検討しています。人権尊重の責任および人権デュー・デリジェンスを実施すべき範囲は、自社の事業活動は勿論、直接の取引先からビジネス上の間接的な関係先を含む、サプライチェーン全体に及びます。そのため、こうした世界の動向は事業規模や活動拠点、産業セクターを問わず、多数の日本企業にも直接影響を及ぼします。

このような背景から、日本を含むアジア太平洋地域における責任あるビジネスの取り組みの強化に向け、2024年9月23～27日に『[国連責任あるビジネスと人権フォーラム 2024：アジア太平洋地域 ～「救済の設計図」：課題を克服し、アクセスを促進する～](#)』がバンコクで開催されました。今回、2,500人以上が参加し民間企業、政府、市民社会組織、労働組合など、セクターを超えた対話が活発に行われ、タイ国内で日本企業向けのスタディーツアーやセミナー、ワークショップも並行して開催されました。本報告会では、これらの活動から得られた重要な学びや有益なポイントについて、参加者からの声を交えながら紹介いたします。

<日時> 2024年11月8日(金) 15:30～17:00 (日本時間)

<形式> Zoom ウェビナー (自由参加・退出)

<対象者> どなたでもご参加いただけます。

ご参加を希望される方は、下記リンクより氏名とメールアドレスをご登録ください。即時承認されますので、当日は自動案内されたウェビナー参加情報 (URL) よりご入室ください。

<参加登録>



[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_ZmiGqNbITYCzLIhIpcsWEw](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_ZmiGqNbITYCzLIhIpcsWEw)



## プログラム

時間	内容	登壇者
15:30-15:35	開会挨拶	
15:35-15:50	サマリー報告： 責任あるビジネスと人権フォーラム 2024	国際移住機関（IOM） タイ国事務所 船川 氏
15:50-16:05	サプライチェーンの現場から： Issara/JP-MIRAI 共催スタディーツアー	Issara Institute 久田 氏 & 参加者からの声
16:05-16:20	ミャンマー人労働者の受入れ体制： IOM 主催スタディーツアー 現場から学ぶステークホルダーエンゲージメント： 移住労働者と支援団体との交流スタディーツアー	IOM タイ国事務所 崔 氏 & 参加者からの声
16:20-16:35	アジアのステークホルダーとの対話を実践化： IDE-JETRO 主催日系企業向け実践型セミナー 『意味のあるステークホルダーエンゲージメント』とは？ —アジアのステーク ホルダーと対話をしよう—	アジア経済研究所（IDE- JETRO） 山田 氏 & 参加者からの声
16:35-16:55	質疑応答・意見交換	司会
16:55-17:00	閉会挨拶	

## 問い合わせ

一般社団法人グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）

E-mail : [gcnj\\_seminar@ungcjin.org](mailto:gcnj_seminar@ungcjin.org)（担当：大藤）